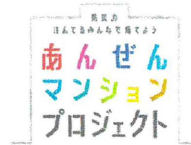


—アンケートや事例から学ぶ—
水害対策の進め方を学ぶ情報交換



リスク想定の方 なぎさニュータウンの取り組み

2020年7月26日
なぎさニュータウン
鈴木 正彦

1

1

1. 「リスク想定」とは？

◆ 起こりそうな「リスク＝脅威」をもれなく洗い出す

☞ 想像力を働かせ、ここに十分時間をかけましょう。

ここがいい加減だとその後の対策も「すぐ思いつくこと、やり易いこと」
だけをやることになってしまい、「想定外」が増えてしまう。

「マンション」ではなく、「生活（圏）」を視野に!!
(自マンションのハザードマップだけでなく、周囲も含めて検討。)

2

2

2. 想定は「具体的に」

◆ 過去(2019年15、19号)を教訓に、さらに悪い事態を想定する。

☞ 「〇〇年に一度」は、今年も来る!?⇒来る!!

- ・ベランダのモノが風で飛び、隔て板を破損…
- ・排水管の落ち葉、ゴミ⇒ベランダが満水?
- ・路上の排水口の落ち葉⇒路上の冠水の一因に…

☞ 「広域避難」を可能にするには?

- ・「計画運休」…江戸川区水害ハザードマップには、言及なし。

☞ 「在宅避難」してはいけない人?

- ・地震時の在宅避難は可能でも、水害時は最悪、陸の孤島になるため、通院治療等が必要な方の「在宅避難」は難しい

☞ 「品不足」発生!!

- ・ローリングストックの重要性再認識
- ・新型コロナ禍でのモノ不足も考慮

3

3

3. 想定したリスクを住民と共有

◆ 風水害は、住民による対策が不可欠

☞ 「風水害」で何が起こるか、平時から住民に周知。

- ・「指示」ではなく、理由を挙げて自発的行動に期待。

- ・ローリングストック実践
- ・清掃デーでの落ち葉除去

☞ ライフライン断絶時の対応を周知

- ・トイレ対策
- ・カセットコンロ、ガスボンベ
- ・充電器、蓄電池、ソーラーチャージャー等

※なぎさニュータウンでは、「防災ガイド」に「風水害編」を作成中。

4

4

4. マンションとしての水害対策

◆ ライフライン死守／早期復旧対応

☞ 大規模水害では、ライフラインが断絶も想定されるが、受け側は可能な限り温存する方向

※なぎさでの対応

電気室:防潮扉の動作確認

(2010年1月 ハイチ地震時に確認、後日不備部分改修)

管理棟:60cm程度の水没まで対応の止水シート、止水板を配備。

貯水槽:地下貯水槽だが、出入口は2階床面の高さ。

小型発電機:カセットボンベ式発電機を屋上に配備。

エレベーター:基板温存のため、1基を残し、最上階退避をルール化。

5

5

5. 今後の対応

◆ 起こりつつある災害の状況を常にフィードバック

☞ 「新しい生活様式」に合った防災活動を模索

防災訓練⇒3密

- ・映像化検討中。DVD上映による訓練。
- ・ミニFM局開局検討（FMえどがわ受信不良）

6

6